

平成27年度学校評価表(評価項目・評価の観点)

学校番号	75
------	----

長野県梓川高等学校

5: 十分 4: ほぼ十分
3: どちらともいえない 2: やや不十分
1: 不十分

* 「評価項目」の() 数字は、本校の今年度重点目標の項目番号

領域	対象	H27 評価項目	H27 評価の観点	本年度の成果と課題	評価	具体的な改善策・向上策
教育活動	教育課程	(1) 教育課程研究とコース制の充実	生徒の要望や進路状況に応じた、カリキュラムの研究・検討を行い、特色ある教育課程づくりを行っているか。	前年度を参考にして選択科目群を決定し、生徒のコース・科目選択のための希望調査を実施した。しかし、各選択群の科目が実情に合わないものが出てきている。	3	2, 3年次における選択群について科目、生徒数、講座数も含め年度の早い時期から検討する必要がある。
			学習指導要領改訂後の、新教育課程にふさわしい内容と効果が伴っているか。	現状に合わせて微調整を加えた。しかし、それだけでは取まらない部分も出てきている。	3	本校の将来像を踏まえ、現教育課程・コース制を検討していく必要がある。
	学習指導	(1) 基礎基本の定着と個の興味関心に応じた指導	生徒の学力実態に対応し、指導の工夫や教材作成に取り組んでいるか。	朝のSHRにて数学小テストを実施する学年もある。教材にWebデータを利用するなど生徒をひきつける工夫も実施。	3	生徒の基礎学力定着に向けた、3年間を見通した計画立案、アクティブラーニング等を活用した新しい学力への対応。
		授業評価による授業改善	授業アンケート、定期考査等を通じ、生徒の理解、関心の度合いを図りながら授業改善に努めているか。	2回の授業アンケートを複次的に検証・活用、授業改善に役立っている。定期考査で生徒の理解度等を確認、内容の改善を実施。	4	地域に求められている卒業生像の確認と、それに基づいた学力の定着。定期的な基礎学力・学習習慣の調査、分析。
	進路指導	(2) 3年間を見通した計画的な進路指導	学年や個に応じた進路指導計画の策定と適切な進路情報を幅広く収集整理し、積極的かつ適正に活かしているか。	校外の進路説明会の実施や参加、模擬試験を計画的に行えた。進路に関する情報提供も適宜行えた。	4	3年間を見通した指導計画について、適正な実施時期をふまえ、今後も継続して検討していきたい。
		進路希望の実現と職業理解の促進	働くことの意味と責任を自覚し、社会の一員として生きる力を育成するために、低学年からの意識付けや、ワーキングセミナー、各種適性検査等の実施ができたか。	事業所見学により職業理解をすすめることができた。ハローワークとの連携を密に行えた。諸検査やセミナーについても例年通り実施できた。	4	検査結果を効果的に反映させられるように、進路目標にみあった指導が行えるように、さらに努めたい。
	生徒指導	(3) 基本的な生活習慣の確立	全職員の協力で生徒指導に当たり、集団生活のマナーやルール遵守の定着を図っているか。	校外巡視を年間を通して行っている。外部から苦情をいただくこともあるが、ルール・マナー向上の啓発になっている。	3	引き続き、問題行動を未然に防ぐよう、全職員で継続していきたい。
		生徒相談体制の充実	生徒の状況を把握し、関係者間の連絡を密にして適切な支援体制を整えているか。	外部支援員、カウンセラーと定期的に面談を行い、関係者の連絡を密にししながら生徒支援を進めている。	4	生徒状況の把握に努め、適切な支援につなげるとともに、定期的な面談も継続し生徒支援を進めていきたい。
	生徒会	(3) 自主的、主体的に行動する生徒の育成	生徒の自主活動に適切な助言と指導を行い、責任感・自治能力を育てているか。各活動を安全に行えているか。	開催時期が早くなった梓水祭をはじめ、各行事の企画運営に、必要な助言等を行うことができた。新執行部の活動も早く開始した。	4	各行事の安全面に対する配慮を忘れず、無理のない計画になるよう生徒と相談していく。日常的な係活動の充実にも力を入れたい。
	学校運営	組織運営	(1) 学校評価活動の充実	学校評価活動を通して、教育活動の向上・改善を図っているか。	各行事ごとのアンケート、学校評議委員会、教育懇談会などの開催、生徒への授業アンケートなどを行った。	4
情報提供			本校の教育活動に関する情報や資料を、積極的・迅速に公開・提供をしているか。	引き続き、HPの迅速な情報公開に努めるとともに「梓川高校だより」などを通して、地域・中学校を中心に情報提供に努めた。	4	今後もさらにHPや「梓川高校だより」の充実を図りたい。また、マスメディアへの情報発信も積極的に行いたい。
地域連携		(1) 地域の声や教育活動に生かす	様々な場面で地元との連携を図り、地域の声や教育活動に生かしているか。	地域の文化祭や行事などに、生徒会やクラブなどが積極的に参加した。また、中学校訪問や、出前授業を行い、情報交換を行った。	4	地域の行事に参加して知った地域のよさを、さらに広めていけるような機会をつくっていききたい。また、地元の中学との連携をさらに深めていきたい。
		教育力の活用	地域の教育力の活用を推進し、生徒の学習意欲を引き出しているか。	本年度も、1年生全員の福祉体験学習と、夏休み、春休みの年2回職業体験学習を行い、地域の施設や企業で貴重な学習ができた。	4	今後も地域やOBの方々のお声をお聞きしながら、地域の体験学習がさらによりよい学習になるよう、改善、継続していきたい。
校内研修		(1) 授業・学習指導法の改善	職員が積極的に取り組める、研修会及び公開授業・研究授業等がなされているか。	校内及び校外向けの公開授業を今年も3回実施。保護者、中学生などが来校、好評だった。また校内の職員間の参観も盛況だった。	4	来年度も引き続き、実施していきたい。さらに、来校者(中学生等)ができるだけ参加しやすい日の開催を工夫、計画していきたい。
	生徒の理解	多様な生徒の悩みを理解し、支援に結びつく研修となっているか。	相談室担当の職員による2度の研修会や研修の報告会などを行い、生徒の情報共有と対応についての研修会を行った。	4	内容の濃い研修会を持つことができた。さらに、継続していく必要がある。	